

## 第4回やさい畑クラブ実施報告書

開催日:2024年3月17日(日) 19:00~21:30

会場:Zoomによるオンライン会

参加者:島田(横浜)、柳瀬(深谷)、阿部(桂)(三重)、宮田(茨城)、竹内(高崎)、吉平(愛知)  
中村(四国)、富澤(前橋)、荒井(佐野)、小西(さいたま)、倉林(平塚)、松原(さいたま)  
堤(宇都宮)、森口(四国)、麻生(川越)、二宗(愛知)、 合計16名

今回初参加の竹内さん(高崎)は、工業会活動の仲間富澤さんが声をかけての参加であり、このような形で少しずつ仲間が増えてきている。

今回はこの時期に合わせて、「土づくり」、「ジャガイモの植え付け」、「春夏野菜の面白い野菜」などをテーマとした。

土づくりでは参加者から事前に自分の取り組みの写真を送ってもらい、それに基づき説明してもらった。

宮田さんはススキの原野を開拓し、それに竹、落ち葉、もみ殻、米ぬかを入れてマルチで囲い半年おく。



ススキ

森口さんは茅葺き屋根の修理を手伝い、古い茅を活用。など特徴ある取り組みを説明してくれた。そのほかにも



茅葺き

自分なりの方法での話が出たが、基本は有機物をぼかしなどの菌を使って堆肥として豊かな土を作るのが基本だということになった。

ジャガイモは今は植え付けの時期であり、皆さんが取り組んでいるテーマである。種イモの切り方、植え付け方で盛んに議論が進んだ。切った面をどちらに向けるか。下のするのがスタンダードだが、逆にしたり、



じゃがいも

斜め45度という方法も出てきて、それなりに理由もあり、野菜づくりの奥深い部分が紹介された。

食べるや野菜ではないが、楽しめるものとして「藍」や「コキア」の紹介もあった。これらのものは栽培しやすく、ちょっと手を加えるだけで両方も色が非常にきれいで素晴らしい製品になる。

自分で種を取り翌年にまいて楽しんでいるということで、希望者には種の提供をするという話に広がっていった。



コキア



コキア



藍染め

この交流会は2か月に1回であり、この間の情報交換としてコミュニケーションツール「Slack」を使っている。無料版は3か月後にデータが順次消えていくので、必要なものをバックアップとして保存する必要がある。これらの検討を若い松原さんをお願いした。

文責 二宗(愛知)